

## コストコ渋滞改善に対する取り組みについて（令和5年1月23日現在）

### ●概要

平成23年のコストコ開店以降、コストコ来店者の車で周辺道路（市道山手線、府道八幡インター線）が土休日を中心に慢性的に渋滞しており、路線バス（京阪バス）に最大5時間半の遅延が発生し、運行に大きな支障をきたしている。

「八幡市地域公共交通計画」の施策「地域間移動に関する検討、機能の改善」により、コストコ渋滞の改善に取り組み、既存バス路線の利便性を確保する必要がある。

### ●勉強会及びコストコとの協議の主な内容

- ・大規模小売店舗立地法に基づく届出内容の確認、改善の要請
- 状況によって駐車場出入口を臨機応変に運用しているため正式な届出変更が難しい。
- ・警備員の増員→繁忙期は2～3名増員、それでも足りなければ店舗スタッフを動員
- ・駐車場の効率的な運用（屋上部分への積極的な誘導）→誘導員と店舗スタッフで実施
- ・渋滞状況の情報発信（HP、SNSの活用など）→ 会員登録時に注意喚起を実施
- ・近隣住宅地への交通安全対策 → 「Uターン禁止」看板設置済み  
Uターン車に当て逃げされる事案が発生しているため、近隣住宅地入口道路への警備員配置をコストコへ要望
- ・付近の信号機の周期変更ができないか → 警察で調査。平日はほぼ1回の青信号で流れている。今後は土休日雨天時も含め詳細な調査のうえ、信号機の周期が渋滞要因になっていることがわかれば、調整を検討していきたい。

### ●備考

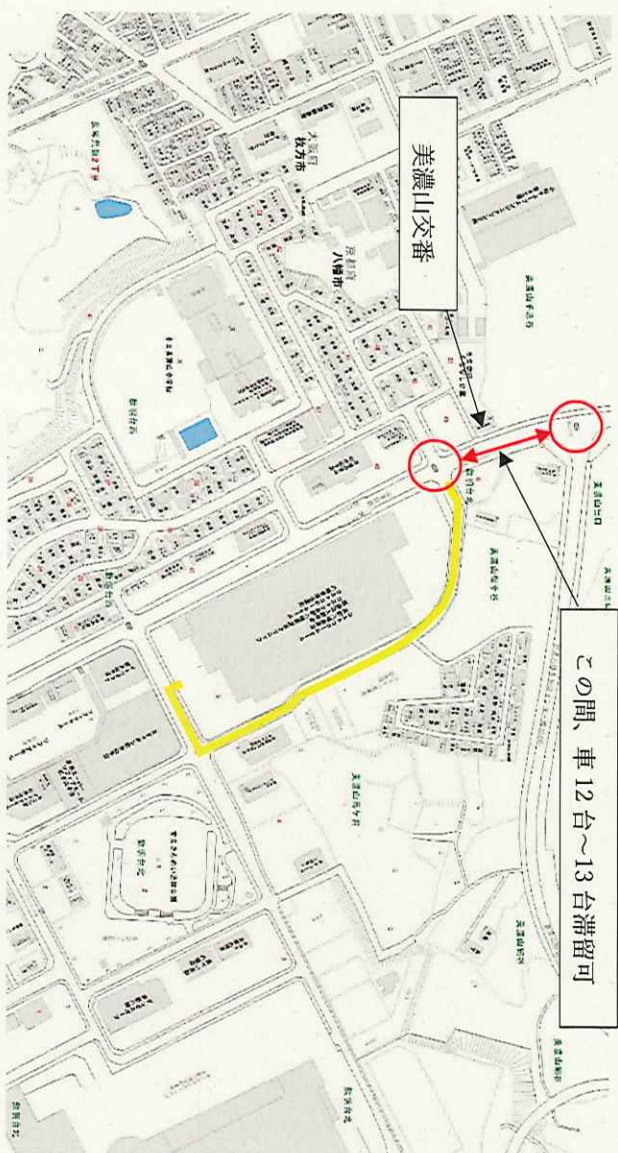
- ・前回8月の協議以降、平日の渋滞はほぼ解消しており、雨天時の土休日のみ渋滞が発生している。
- ・コストコ門真店が今年8月にオープン予定。これにより10%～20%集客が下がると予測される。
- ・近隣では滋賀県東近江市（令和6年）、三重県亀山市（令和7年）にオープン予定。八幡店への客は更に分散するとみられる。
- ・今後、劇的な改善は難しいと思うが、引き続きコストコ店舗と道路管理者、警察、大店法所管の京都府などの関係者で定期的な情報共有の場を設けていく。

●経過

月 日	内 容
平成23年12月	コストコホールセール八幡倉庫店 開店
24年6月	山手幹線球体対策勉強会（京都府道路計画課、山城北土木事務所、八幡市、京田辺市、八幡署、田辺署）
29年4月	新名神城陽八幡間 供用開始（以降、渋滞が悪化）
平成30年度	山手幹線交通量調査
令和元年9月	山手幹線渋滞対策勉強会 （京都府山城北土木事務所、八幡市、京田辺市、八幡署、田辺署）
11月	コストコ、ムサシ ヘビアリング
2年2月	山手幹線渋滞対策勉強会 （京都府山城北土木事務所、八幡市、京田辺市、八幡署、田辺署）
3年10月	京都府山城広域振興局と協議 （大店法に基づく届出の是正について）
12月	コストコ協議、申入れ（京都府①、八幡市、八幡署）
4年 3月	山手幹線渋滞対策勉強会 （京都府①、八幡市、京田辺市、八幡署、田辺署）
4月	コストコ協議、申入れ（京都府②、八幡市、八幡署）
6月	コストコ協議、申入れ（京都府②、八幡市、八幡署）
8月	コストコ協議、申入れ（京都府②、八幡市） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お盆時期の対策</span> ⇒ 警備員2名増員、開店時間の前倒し（10時→8時）、近隣の病院、住宅地付近に「Uターン禁止」の看板
12月	コストコ協議、申入れ（京都府②、八幡市、八幡署） ⇒ 警備員3名増員、館内スタッフ100名増員、開店時間の前倒し（10時→8時）、近隣の病院、住宅地からの苦情は8月以降なし 係員による屋上駐車場への積極的な誘導も行われている。
2月	コストコ協議、申入れ（京都府中小企課、八幡市、八幡署） ⇒ 年末年始の状況報告、近隣住宅地へのUターン防止等安全対策を要望、駐車場からの出庫時の柔軟な対応を検討（右折出庫など）

※①京都府中小企業課、京都府山城広域振興局、山城北土木事務所

※②京都府中小企業課、京都府山城広域振興局



この間、車 12台~13台滞留可

美濃山交番

## 施策①-2 地域間移動に関する検討、機能の改善

### 施策概要

山手幹線の渋滞対策に関する勉強会や地域間移動の利便性に関する検討会を実施します。渋滞の一因である大規模小売店舗に対して渋滞抑制の要請を行う等の渋滞によるバス遅延への対策や、乗り継ぎの円滑化と乗り継ぎ方法の周知、行政機能の充実策等を検討します。

実施主体	行政	交通事業者	地域住民	その他
	○	○	○	警察

実施時期	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	随時検討・実施					

### 取り組みの背景と内容

#### 背景

- ・南部地区では、大規模小売店舗が一因の山手幹線の渋滞により、路線バスに大幅な遅延が発生しているほか、渋滞を避けるため、路線バスの迂回運行や運行回数削減等を余儀なくされ、公共交通に大きな影響を与えています
- ・南部地区では、隣接市の樟葉駅や松井山手駅を結ぶバス路線が充実しており、需要も多い状況ですが、市役所や石清水八幡宮など本市中心部への乗り換えなしでいけるバス路線がなく、住民からこれらをつなぐ「南北路線」の要望が挙げられています。一方、市役所周辺施設の利用頻度は低く、過去にも実証実験を行いました。需要は少ない結果でした。

#### 内容

- ・山手幹線の渋滞対策に関する勉強会や地域間移動の利便性に関する検討会を実施します。

#### <山手幹線の渋滞対策>

- ・山手幹線の渋滞の一因である大規模小売店舗に対して渋滞抑制の要請を行います。
- ・道路管理者等の関係機関と連携し、渋滞緩和に向けた取り組みを行います。

#### <地域間移動の利便性>

- ・南部地区から市役所周辺までの乗り継ぎを考慮したダイヤ、乗り継ぎ方法の周知、市役所周辺でイベント等がある際には、規模に応じた送迎バスの運行等を検討します。
- ・南部地区住民の利便性を高めるため地区内での行政機能の充実策等を検討します。



▲ 山手幹線の渋滞状況

#### 期待される効果

- ・路線バスの遅延の解消に寄与します。
- ・勉強会を実施することで、住民の公共交通に対する意識醸成に寄与します。
- ・乗り継ぎの利便性の向上に寄与します。